

日本語指導を必要とする児童等の書字指導法 2

神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究所 教授 笹田 哲

【小学校国語科(書写) 教授資料】この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っています。

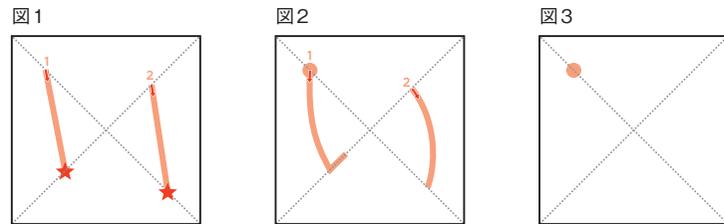
前回は、日本語指導を必要とする児童の字形の特徴、開発した斜めますのワークシートについて説明しました。今回は、指導の実践例を紹介します。

「い」と「り」

「い」と「り」が同じ形になり、字形の違いがわからない、字形の微妙な傾きや丸みが書けない、1画めと2画めの位置関係が捉えにくい場合の指導方法です。

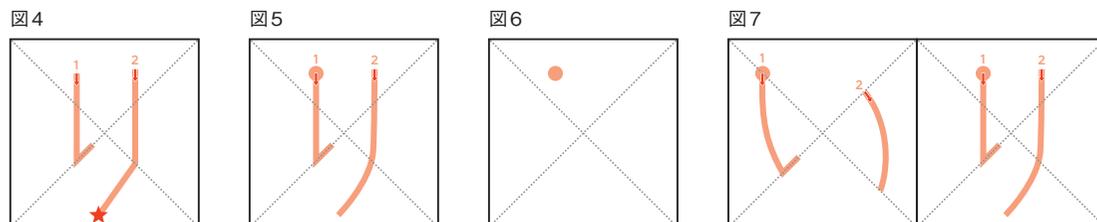
「い」の指導法の手順を解説します。対角線上に、始筆、終筆があります。

- 1) 始めの練習では、字形は直線にします(図1)。直線をなぞります。最初から曲線を入れないことがポイントです。
- 2) 次に、曲線をなぞります(図2)。1画めの終筆は対角線上と重なることを意識させます。
- 3) 始筆の1点のみを記した斜めますを用いて書きます(図3)。
- 4) 慣れてきたら、無地のますで練習し、字形を確認していきます。
- 5) 練習前の文字と見比べて、比較します。



「り」の指導法の手順を解説します。対角線上に、始筆、終筆があります。

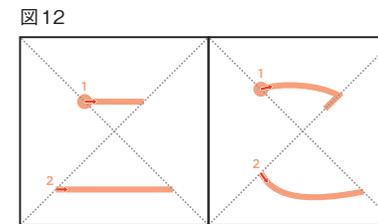
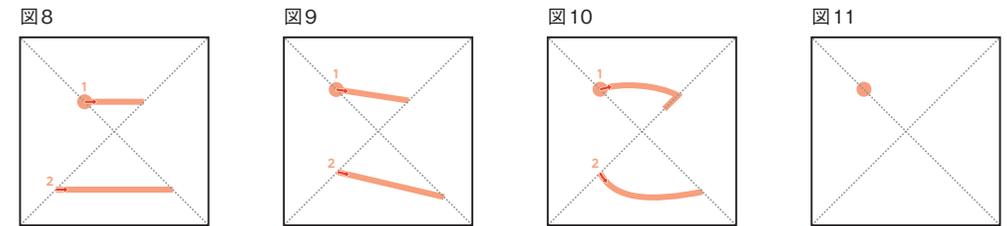
- 1) 始めの練習では、字形は直線にします(図4)。直線をなぞります。最初から曲線を入れないことがポイントです。
- 2) 次に、曲線をなぞります(図5)。1画めの終筆は対角線上と重なることを意識させます。
- 3) 始筆の1点のみを記した斜めますを用いて書きます(図6)。
- 4) 慣れてきたら、無地のますで練習し、字形を確認していきます。
- 5) 「い」と「り」の文字と見比べて、違いを比較します(図7)。



「こ」と「二」

「こ」が片仮名の「ニ」になり、違いがわからない場合の指導方法です。

- 1) 「ニ」については、1画めが短く、2画めは長いことを確認します。また、平行になることを確認します(図8)。
- 2) 「こ」について、字形は直線にします(図9)。直線をなぞります。
- 3) 次に、曲線をなぞります(図10)。1画めの「はらい」は対角線上と重なることを意識させます。
- 4) 始筆の1点のみを記した斜めますを用いて書きます(図11)。
- 5) 慣れてきたら、無地のますで練習し、字形を確認していきます。
- 6) 「ニ」と「こ」の文字と見比べて、違いを比較します(図12)。



文献

- 1) 笹田 哲 監修「(DVD版)書字動作が苦手な子に対するピラミッド法による指導プログラム ～字を書く“動き”に焦点をあてた指導法～」ジャパンライム(2017)
- 2) 笹田 哲「気になる子どものできた!が増える 書字指導アラカルト」中央法規(2014)
- 3) 笹田 哲「気になる子どものできた!が増える 書字指導ワーク1 字を書くための見る力・認知能力編」中央法規(2014)
- 4) 笹田 哲「気になる子どものできた!が増える 書字指導ワーク2 ひらがなの書き方編」中央法規(2014)
- 5) 笹田 哲「気になる子どものできた!が増える 書字指導ワーク3 カタカナ・数字の書き方編」中央法規(2014)
- 6) 笹田 哲 監修「入学前からはじめよう 発達が気になる子の『できる』を増やすからだ遊び」小学館(2015)